

9月1日は 防災の日 災害から身を守るための行動を確認しましょう

閏総務課 ☎0176-51-6703

秋は、台風や大雨が多く、災害が起こりやすい季節です。災害から身を守るため、事前にお住まいの地域の危険な場所や避難先を確認するとともに、災害・気象情報などに注意しましょう。



防災マップで危険な場所を確認

市で配布した防災マップには、洪水、土砂災害、地震、火山の災害に関する情報や対策のほか、防災情報の収集方法、非常時持出品などについても掲載しています。

市ホームページからも見るができますので、自宅や勤務先などの避難所や避難経路を確認しておきましょう。



▲防災マップは
こちらから



家族で確認～避難のタイミングと避難行動～

災害時は、電話がつながりにくくなり、家族などとの連絡が難しい状況も予想されます。災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を活用するとともに、日頃から避難のタイミングや避難行動を確認しておきましょう。



▲災害用伝言ダイヤル
はこちら

■避難のタイミング

警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意報

出典：内閣府「避難情報のポイント」

市から「警戒レベル3 高齢者等避難」が発令されたら、避難に時間を要する人は避難、「警戒レベル4 避難指示」では災害リスクのある場所にいる人はその場所から全員避難してください。「警戒レベル5 緊急安全確保」が発令された場合、既に災害が発生している可能性があります。

直ちに安全な場所で命を守る行動をとってください。

■避難行動

避難行動には「立ち退き避難（水平避難）」と「垂直避難」があります。状況に応じた避難行動を取りましょう。

立ち退き避難（水平避難）

危険な場所から避難所や親戚・知人宅などの安全な場所へ避難。



垂直避難

洪水や浸水などで移動が困難な場合に、自宅や近くの建物の2階以上の高い場所で安全を確保。



自主防災組織をつくりましょう ・・・・現在54団体が設立されています

災害が発生したとき、お互いに助け合うため、日頃から地域で防災活動に取り組む組織を「自主防災組織」といいます。日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震での県の想定では市内でも震度6強の揺れが予測される地域があることから、自分たちの命は自分たちで守るため、自主防災組織をつくり、地域の防災力を高めましょう。

○自主防災組織の活動

平常時	災害時
▶防災知識の普及・啓発 ▶地域の危険個所の把握 ▶防災訓練 ▶防災用資機材などの点検・整備 ▶地域内の要配慮者の情報確認 など	▶情報収集や近所同士での避難の声掛け ▶出火防止・初期消火 ▶避難誘導・避難所運営などの協力 ▶救出・救助活動 など

※市では、新たに自主防災組織を設立する際に必要となる防災用資機材の購入費の助成（1団体：上限60万円）や防災計画の作成支援などを行っています。

自主防災組織について
詳しくはこちら▶

